

架け橋

発行 上都賀教育事務所ふれあい学習課
鹿沼市今宮町1664-1
TEL: 0289(62)7167 FAX(62)0148
Email:kamitsuga-kyouiku@pref.tochigi.lg.jp



第2号 (平成25年10月)

地区生涯学習担当者等研修会 テーマ:学校支援ボランティア活動を活性化するために

7月31日(水)日光市大沢地区センターにおいて『上都賀地区生涯学習担当者等研修会(兼第1回上都賀地区現職教員社会教育主事会研修会)』が開催されました。前半は、テーマについてグループ協議を、後半はテーマについて、学校担当者・学校支援ボランティア・地域コーディネーターに求められることという内容で、聖徳大学文学部教授 清水 英男 先生からご講話をいただいたり、参加者の質問にお応えいただいたりしました。

【グループ協議より】



学校支援ボランティア活動をよりよい活動にするために、自分が具体的に関わっていること。または、学校として進めていること(取り組んでいること)

- 計画づくりとその見直し
- 教職員のニーズの把握
- 学校支援ボランティアの募集
 - ・保護者へ案内通知
 - ・PTA総会後に説明
 - ・自治会に対して案内通知→回覧
- 学校支援ボランティアの組織化
 - ・人材リスト、連絡網の作成
- 学校支援ボランティア会議の開催
[学校と学校支援ボランティアの顔合わせの意見交換]
- 学校支援ボランティアに関する情報発信
 - ・ホームページ
 - ・学校だより
 - ・ボランティアだより
 - ・学校支援ボランティアの紹介
[職員室や昇降口に→名前や顔写真の掲示]
- 地域の情報の収集
[地域学習のしおり作成]
- 日常のこまめな挨拶(感謝の心)
- 地域コーディネーターの設置
- 地域コーディネーターとの打ち合わせ
[学校側の要望をきちんと伝える]
- ボランティアルームの設置
[名札、ポット、飲み物、掲示物等準備]
- 感謝の会の開催
- 学校支援ボランティア活動の記録を残す
[関係者の感想や反省、写真等]
- 校内研修の実施
[先生方に活動の事例や成果を紹介]
- 関係する校外の研修会に参加



▲熱心に情報交換をしている参加者

ボランティアルームを設置している学校(日光市立小林小学校)



【ボランティアルームにあるもの】

- ・ ウェルカムボード
- ・ 机
- ・ いす(座布団つき)
- ・ 壁には首からさげる名札(ボランティアが自分で記入)
- ・ 机の上に、学校支援ボランティア依頼書、筆記用具
- ※ボランティアは、活動前に依頼書を見て再確認。
- ※ボランティアは、活動後感想や反省を依頼書に記入してから帰る。
- ・ 湯茶セット(コーヒー、お茶、砂糖、ミルク、紙コップ等)
- ※お湯をいれたポット→学校が準備
- ※湯茶はセルフサービス
- ・ 市や県の学校支援ボランティアや地域コーディネーターに関する研修の案内通知
- ・ 学校支援ボランティアの活動写真の掲示物



▲名札

▲学校支援ボランティア依頼書

▲活動写真(掲示物)

◆学校支援ボランティアルームを設置して

ボランティアさん同士がボランティアルームでたくさん話をするようになり、さらに交流が深まりました。
また、来校したボランティアさんを今まで、校長室で接待していた学校側にとって、接待に要していた時間を別の業務にあてることができるようになりました。双方にとってプラスに働いています

(生涯学習係:渡邊 浩美先生より)

新社会教育主事有資格者教員紹介

今夏(7月22日~8月20日)、茨城大学で社会教育主事講習を受講し、新しく社会教育主事有資格者になられた地区内の3名の先生をご紹介します。



【お名前と所属】：鈴木 早苗 先生(鹿沼市立西中学校)

【社会教育主事講習を受講して】

私は教員として、地域にもっと目を向け地域を知り、地域社会を担う人づくりに貢献していきたいと考えました。地域の方や保護者と積極的にコミュニケーションを取り、連携してよりよい教育、支援ができるように今後一層努力していきたいと思えます。



【お名前と所属】：湯澤 浩之 先生(日光市立大桑小学校)

【社会教育主事講習を受講して】

講習期間中に自分の考え方が大きく変わっていくことを実感しました。今まで見ていたことも、見方を変えることで新たな一面に気づくことができるかと痛感しました。教師としてもそうですが、一地域人として本当に多くのことを考えさせられました。



【お名前と所属】：篠原 正典 先生(県立鹿沼商工高等学校)

【社会教育主事講習を受講して】

最近の口癖は「それは社会教育の観点から見ても良いことですね。」です。講習を終え、社会教育は密かにマイブームになっています。言うたびに周りの先生方には笑われたり、からかわれたりするのですが、雰囲気づくりには一役買っていると思えます。今後はその視点を忘れず、実際に活かしていければと考えています。



「架け橋」への御意見・御感想、または情報などお待ちしております ...